

Vitra Accessory Collection Developed by Vitra in Switzerland Update : Maison & Objet, September 2018

ヴィトラアクセサリーコレクションは、豊富なインテリアアクセサリーやテキスタイルなどのラインナップを揃え、シーズン毎に拡大し続けています。アレキサンダー・ジラード、チャールズ&レイ・イームズ、ジョージ・ネルソンなどの時を越えて受け継がれる名作から現代のデザイナーによるプロダクトまで、楽しさと遊び心にあふれたアイテムを発表しています。2018 年秋冬コレクションでは、ストックホルムのデザインユニット、フロントや、チャールズ&レイ・イームズ、アレキサンダー・ジラード、アリック・レヴィのデザインによる新作アクセサリーを発表します。

Resting Animals, Front (2018)

「レストイング アニマル」は、ストックホルムを拠点として活躍するデザインユニット、フロント(Front)が実施した、オブジェが人に与える影響や関係性について調査するプロジェクトをもとに生み出されました。彼らの調査は、「これまでのあなたの暮らしにおいて、もっとも心を和ませてくれたオブジェとは何でしたか」という問いかけを、ランダムに選ばれた人達に投げかけるものでした。その回答の多くは、多くの人が、動物の形をしたオブジェに対して、あたかも人格をもっている友達かのように特別な愛情を抱き、ともに大切な時間を過ごしてきたということが分かりました。また、フロントは、動物がどのように眠りについたり、冬眠するのかということにも注目し、それを表現した作品をこれまでも発表してきました。これらの探求のプロセスから、穏やかに眠る動物を象ったシリーズ、レストイングアニマルが生まれました。シリーズの中で、最も大きい熊を象った「レストイング ベア」は、ニット性のカバーを纏ったやわらかい体に、もたれくつろいだり、スツールやオットマンとしても使うことができます。猫と鳥を象ったセラミック製のオブジェ、「レストイング キャット」と「レストイング バード」もシリーズに含まれます。レストイングアニマルは、すやすやと平和に眠る動物達を眺めることで、私達の暮らしと人生に心安らぎの時間を与えてくれます。

Eames House Bird, walnut

旅を愛したチャールズ&レイ・イームズは、旅から数多くのオブジェや民芸品、雑貨などを持ち帰り、自邸イームズハウスをまるでコラージュするかのように飾っていました。黒い木製の「イームズ ハウス バード」は、彼らの大切なお気に入りの一つとしてとして、自邸の居間に佇んでいました。その姿は、チャールズ&レイ・イームズ自身が撮影した写真の中にも、しばしば登場します。2018年、従来のブラックに加え、自然の木目が美しいウォールナット製の「イームズ ハウスバード ウォールナット」が新たに発売されます。

Popsicle Clock, George Nelson/Charles Pollock (1957)

1950年代、ジョージ・ネルソンは、アメリカの家庭に現代的なデザインをもたらすために、日々の暮らしにまつわる製品を多く生み出しました。多彩なウォールクロックのコレクションもそのひとつです。ヴィトラが再編集し発表しているネルソンクロックのシリーズに、「ポップシクル クロック」が新たに加わります。ウォールナット製の棒を組み合わせた文字盤とパウダーコート仕上げを施した白い針の組み合わせが、その名の通り、まるでアイスクャンディーのスティックのような遊び心あふれるデザインが特徴です。異素材の組合せの美しさからは、ジョージ・ネルソンのデザインと素材に対する、類まれなる想像性の豊かさが感じられます。

Table Runners, Alexander Girard

アレキサンダー・ジラードは、親交の深かったチャールズ&レイ・イームズやジョージ・ネルソンとともにミッドセンチュリーのアメリカデザイン界を牽引した人物のひとりとして、テキスタイルデザイン、グラフィック、家具、展示、およびインテリアデザインなど幅広い分野において活躍し、賞賛を浴びました。無駄な装飾を削ぎ落としたミニマルでシンプルな古典的モダニズムに対して、アレキサンダー・ジラードのデザインは、暮らしに遊び心や楽しさを提案するものでした。ヴィトラとジラードファミリーは、2018年秋冬コレクションの新作である1500 x 40 cmの細長いテーブルランナー用として、1964年と1971年に描かれたモチーフから「ブローケン ラインズ」と「ジオメトリック E」を選びました。

Angel Candle Holder, Alexander Girard

アレキサンダー・ジラードは、サンタフェの自邸のために天使の形をしたキャンドルホルダーを作り、民芸品や花瓶とともに食卓に飾っていました。また、同じモチーフのグラフィックデザインを、1968年にテキサス州サンアントニオで行われた国際博覧会“Hemisfair - The Magic of a People”にも使用していました。ヴィトラとジラードファミリーは、この天使を象ったキャンドルホルダーを、真っ白なパウダーコート仕上げを施した「エンジェル キャンドル ホルダー」として復刻しました。

Silhouette, Alexander Girard (1965)

1960年代、アレキサンダー・ジラードはいくつかのレストランのインテリアデザインを手掛けていました。その中には、かの有名な La Fonda del Sol (1961、ニューヨーク)や L'Etoile (1966、ニューヨーク)、Compound (1967、サンタフェ)などが名を連ねます。彼は、単なる設計にとどまらず、家具、食器、ナプキンや名刺、マッチ箱にいたるまで、ひとつの世界観を空間として作り上げようとしていました。ジラードは、1965年にニューヨークのレストラン La Reserve のインテリアデザインを手掛ける際、メタル製のチャーミングな踊る人の影を模した置物を作り、楽しくお茶目なパーティションとしてテーブルとテーブルの間に設置することを目論んでいました。残念なことに、レストラン La Reserve の計画は、実現には至りませんでした。彼が残したスケッチはヴィトラデザインミュージアムが所有する膨大なアレキサンダー・ジラードコレクションの一部として保管されることになりました。2018年秋冬コレクション、この踊る人の置物は、「シルエッツ」と名付けられ製品化を果たしました。

Metal Wall Relief Dove, Alexander Girard (1965)

「メタルウォールレリーフ」は、アレキサンダー・ジラードが、さまざまなプロジェクトのためにデザインしたウォールレリーフのシリーズです。彼がデザインしたコンパウンドレストランのための「サン」と「ハート」、サンタフェにある自邸に飾られていた「アロー」、「リトルハート」のラインナップに、「メタルウォールレリーフダブ」が新たに加わります。平和の象徴であるダブ(鳩)は、1965年に初めてジラードの作品内に描かれた後、さまざまなテキスタイルや「ツリーオブライフ」のグラフィック、ブランコ航空のためのデザインなど、彼の手掛ける作品に繰り返し登場しました。

Colour Update : Toolbox, Arik Levy (2010)

アリク・レヴィによるツールボックスは、アクセサリー、化粧品、キッチン用品、薬、作業用品、文房具など、家庭やオフィスで使用するさまざまな小物をまとめて整理することができる実用的な収納アイテムです。軽量で丈夫なプラスチック製、コンパクトなサイズと取っ手付きのデザインにより、簡単に持ち運ぶことができ、キャビネットや棚などに保管することもできます。2018年秋冬コレクションより、新たな7色(ミントグリーン/タンジェリン/モスグレー/パールローズ/シーブルー/ホワイト/ブラック)のカラーバリエーションで展開します。

Vitra(ヴィトラ)について

1950年創業のスイスの家具メーカー。世界的なデザイナーの創造性と自社の開発力によって製品とコンセプトを生み出し、そのデザインの色を通してホーム、オフィス、公共スペースの空間の質の向上に貢献。またヴィトラキャンパスにおける建築やヴィトラデザインミュージアムでの展示、ワークショップ、出版物でも知られ、多様な側面を有しています。

www.vitra.com

お問い合わせ:

Vitra 株式会社

マーケティング & PR

蘆原・平井

Eri.Ashihara@vitra.com

Naoko.Hirai@vitra.com

TEL 03 6868 7875